

② 飲食エリア・コワーキングスペース・モビリティ拠点

〈レストラン〉

地域の病院と連携をして、自分に足りない栄養を簡単に把握できるプログラムをつくり、気分に合わせてレストランを選びつつ、メニューを見ながらその栄養価に特化した食事をチョイスできるレストランエリア。それぞれの健康志向などに合わせてレストランのスタイルを選ぶことができる。

レストランの一例

- ・草津の新鮮野菜をふんだんに使ったオーガニック料理のレストラン
- ・琵琶湖で獲れた湖魚をメインに使ったレストラン
- ・ヴィーガン向けのレストラン
- ・日本の伝統食に特化したレストラン
- ・世界のスーパーフードを味わえるレストラン など

〈芝生広場〉

休日にキッチンカーがやって来たり、簡易屋台でのマルシェなど、イベントができる広場。マルシェの例として、

- ・生産者の顔が見える採れたて野菜の市
- ・地域住民によるフリーマーケット など

〈モビリティ拠点・サイクルステーション〉

島の入口として、島内の移動や、島外の施設をスローモビリティで繋ぐ拠点施設。また、びわ伊ちのサイクリストや、島内のサイクリングロードのサイクリストが利用できるサイクルステーション。空気ポンプやお手洗い、自転車整備スペースを設置。飲食エリアへのアクセスもしやすい。

〈コワーキングスペース〉

湖上に浮いた、良い景色を見ながら落ち着いて仕事や勉強ができるスペース。

〈カフェ〉

気軽にテイクアウトして、屋根付きのテラスや、遊歩道の途中にある湖上デッキの上でゆっくりお茶することができる。

レストランとともに親水空間にふさわしいおしゃれなコンテナの店舗で、帰帆島のアピールポイントとなるキャッチーな景色となる。



<https://teppan.blog.ss-blog.jp/2021-02-12>

コンテナを使ったカフェ
愛知県豊田市「Cafe T」



<https://sumidagawa.square.site/stand-rental>

おしゃれな屋台のマルシェ
東京都「隅田川マルシェ」



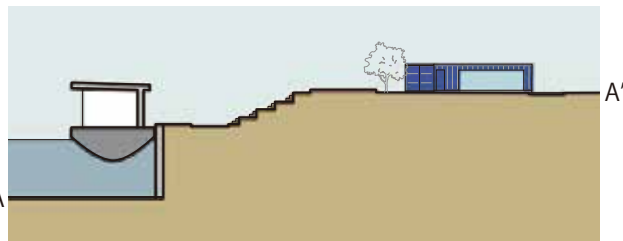
<https://architecturalgroup.ru/projects/electra-muzeon/>

コンテナサイクルステーション
ロシアの自転車屋



https://www.ats-japan.com/2019810_container-restaurant/

コンテナを使ったレストラン
静岡県伊東市 ANCHOR TERRACE



今からできること

- ・島を一周する遊歩道の整備に着手する
- ・キッチンカーを誘致する
- ・広場でマルシェを開催する



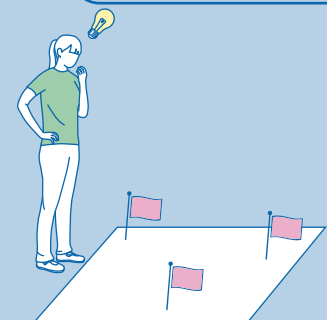
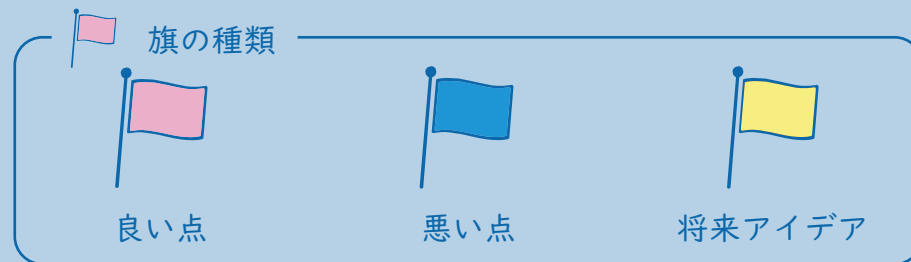
ワークショップの概要

第一回ワークショップ概要 (2021年11月27日)

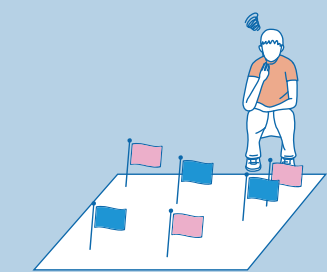
帰帆島周辺地域の地図を住民の皆さんと囲いながらそれぞれの場所の良い点、悪い点、将来のアイデアを記入した旗をさし、意見を出し合いました。



WSのデータはKJ法を用いて、キーワードごとにグループ化して整理し、立命館学生でスローガン、コンセプトの策定を行いました。



STEP1: 良い点
いいなと思う場所に理由を書いて旗をさしました。



STEP2: 悪い点
いやだなと思う場所に理由を書いて旗をさしました。



STEP3: 将来アイデア
将来こうしてほしいな、こんなことができそうだなというアイデアを書いて旗をさしました。

水と親しむ風景
のある暮らし



水

- ・親水性が少ない岸辺（中間水路側）
- ・琵琶湖の近くなど水を利用できる場所がない
- ・夜間利用できるようにして親水性を高める

景色

- ・対岸からの景観
- ・琵琶湖を直接眺めることができる。景観がいい
- ・水路周辺の自然景色がいい、緑が多い
- ・桜がきれい
- ・琵琶湖とのかかわりが薄い



歴史を学び
地域を知る島

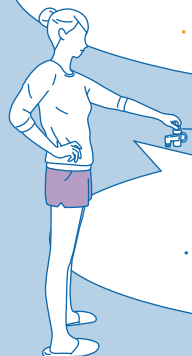


歴史

- ・矢橋公園：矢橋の帰帆等の歴史的な史跡がある
- ・常夜灯：土地が個人所有となっているが何とか改良して矢橋港のシンボルとしてアピールできるか
- ・矢橋街道：東海道の矢倉の分岐からの急がば回れの語源をアピール

見学

- ・下水処理場：水環境への理解
- ・下水処理場：普段から処理場を見学することができない（コロナ前は二回/年機会はあった）



みんなに愛される
地域の庭



アクセス

- ・道路がせまく、駐車場が少ない（魚つりなど）
- ・公共交通を用いたアクセスが少ない
- ・公園と湖岸のアクセスが悪い
- ・訪れにくい
- ・湖岸道路から公園・グラウンドへのアクセス道を作る
- ・水辺周辺 散歩の専用道路ほしい



店舗

- ・座るのに抵抗ないキレイな芝生
- ・休憩できる店がない
- ・プールが使われていた（夏の旧無料券）
- ・食堂が前は開かれていた
- 以前の良さを新しく継続してもう一度開ければ...

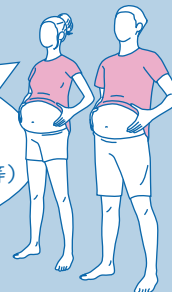


まちが育む
健康習慣



公園

- ・まちの方にはないみどりの広場がある
- ・広場があるけど施設などない
- ・地域の人の利用がすくない（ゲートボール等）
- ・島を一周できる道をつくる



スポーツ

- ・近所の公園ではボール遊び禁止が多い
- この広場をアピール
- ・水上スポーツをしたい
- ・ニュースポーツの施設を作る



滋賀一魅力のある
レジャースポット

welcome!

レジャー

- ・スケボー・釣りをしている人が多い
- ・魚つりができる、グランピングができる
- ・ボート停場、つり堀り施設などを作る

賑わい

- ・帰帆島フェスタ
- ・広い駐車場と芝生広場&公園があり、家族連れでにぎわう

アウトドア

- ・湖岸線 キャンプ・BBQができる
- ・オートキャンプ施設を造る



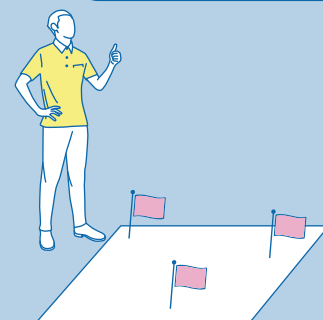
第二回ワークショップ概要 (2021年3月26日)

第二回ワークショップは帰帆島エリアのスローガン・コンセプトを達成するためにどんな場所が欲しいかをアクティビティカード、事例カードを使って、アイデアを出し合いました。

飲食する	物を売る 物を買う	水で遊ぶ	動物と触れ合う	休憩する 座る・寝る	雨宿りをする 寄り添う
歴史を知る	運動する (体を動かす・健康促進)	地上で遊ぶ	つくる・創作する (工作・料理・その他)	勉強する・授業を受ける 仕事をする	おしゃべりする
季節のイベント	休日に外に出かける	観光する	観戦する	スポーツイベントの開催	新しいスポーツに 取り組む
歩く・散歩する 乗物で移動する	新しいことを知る 帰帆島のことを知る	音楽を楽しむ	緑を感じる	水を感じる	植物を育てる

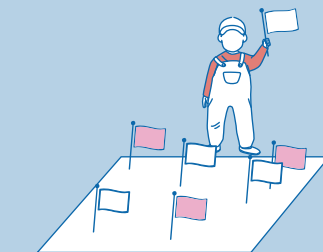
A 釣りスポット	B 水辺の商業施設	C 水に浮いたの商業施設	D 遊歩道
E 森の中のオフィス	F 水上スポーツの拠点	G 様々なベンチのある道	H 水辺のグランピング施設
I 見晴らし台	J スポーツ空間を繋ぐ遊歩道	K ランニング・サイクリングコース	L 白い膜屋根の広場
M 遊具・水上レジャー	N 水車・資料館のある広場	O 森のグランピング施設	P スポーツを観る場・溜まり場

WSのデータを整理し、立命館学生でエリア全体のデザインの方
向性、プロジェクトの策定を行いました。



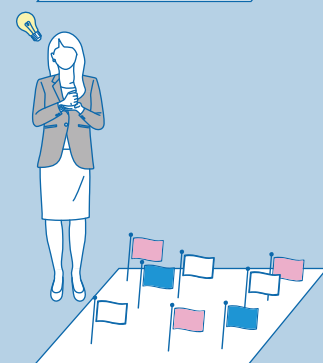
STEP1: アクティビティカード

「こんなことがしたい！」が描かれたア
クティビティカードをやりたい場所にを
さしました。



STEP2: 事例カード

「こんな施設が欲しい！」が載っている事
例カードを欲しい場所さしました。



STEP3: 利用アイデア

こんなことができそうだなというアイデ
アを書いて旗をさしました。

エリア全体に関わるプロジェクトⅠ

閉鎖性水域である
中間水路の水質改善



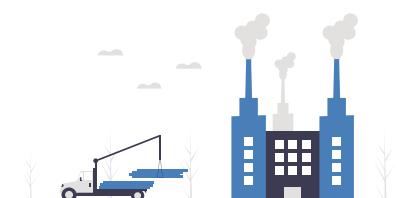
- ・水が流れない問題あり
- ・底の泥の質を改善すると魚が増える可能性あり
- ・ごみを取ってきれいに
- ・ヨシ帯の改善

- 中間水路のネーミングを変えたい
- ・さざなみ水路
- ・憩いを求めるドリーム空間
- ・人と水をつなぐ遊水路

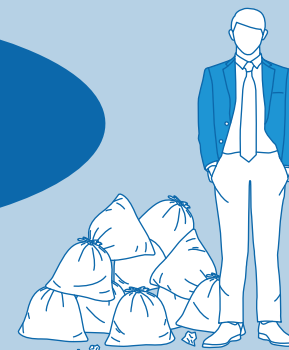


エリア全体に関わるプロジェクトⅡ

下水処理場の
増設・改修に伴った整備計画



- ・2035年まで京セラとメガソーラーの契約
- ・2035年にメガソーラー跡地に下水処理場増設予定



エリア全体に関わるプロジェクトⅢ

各プロジェクトをつなぐ
歩行空間整備



- ・安心して歩ける歩道
- ・街灯で明るい遊歩道
- ・見晴らし台やテラス



- ・帰帆島の周回コースを作る
- ・ピワイチのコースを作る

エリア全体に関わるプロジェクトⅣ

レンタサイクル、
水上交通を取り込んだ
交通体系づくり



- ・イオンと帰帆島をつなぐ（電動自転車）
- ・サイクリング拠点施設
- ・帰帆島～烏丸半島までつなぐことで滋賀県全体の活性化





下水処理場によって分断されてしまっている帰帆島公園と湖岸緑地を接続する立体遊歩道を提案します。



かつての矢橋港を思い起こさせるような水上の賑わいの拠点となる船着き場を提案します。

・遊歩道で琵琶湖に行ける
・地域の人が気軽に歩ける
・ベンチのある道

・朝早く大津から歩いてくる人がいる
・帰帆島に入れる施設が欲しい

・遊具・水上レジャー
・水上スポーツをしたい

・矢橋港の再現
・船着き場を兼ねた商業施設



スポーツに取り組む市民のコミュニティの場となるスポーツラウンジを提案します。



遠方からたくさんの方が訪れるグランピング施設・オートキャンプ場を提案します。



飲食店、テレワーク施設など帰帆島内に商業施設を提案します。

・新しいスポーツに取り組む
・スポーツイベントの開催
・スポーツを観る場・溜まる場
・ランチや運動後に利用できる施設

・ランニング・サイクリングコース
・サイクリング関連・拠点施設

・釣りスポット、
・琵琶湖の自然を感じることで
環境保全につながる
・家族で楽しめる釣りスポット

・グランピング施設：
多くの人が集まる憧れのスポット
・水上のグランピング施設
・オートキャンプ

・水辺の商業施設
・カフェ・飲食店
・以前あったような食堂をもう一度開く

・道の駅・湖の駅
・テレワーク可能なサテライトオフィス
・学校や琵琶湖研究施設

みんながつながるウォータータウン
～帰帆島及び中間水路を地域の資源とした新たな水辺の暮らし～

発行日

令和4年10月1日

発行者

老上西学区まちづくり協議会

協力

立命館大学工学部建築都市デザイン学科阿部俊彦研究室

立命館大学工学部環境都市システム学科金度源研究室

提案書作成に関わった学生

立命館大学阿部研究室 牧田竜明

瀬沼駿

青山柊

山際綾

伊藤光題

大西理斗

村上由希子

Copyright 2022 老上西学区まちづくり協議会、立命館大学阿部俊彦研究室 All Rights Reserved.